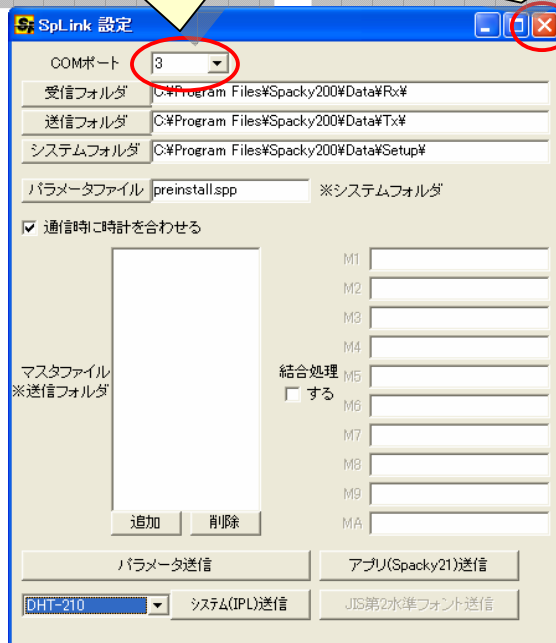
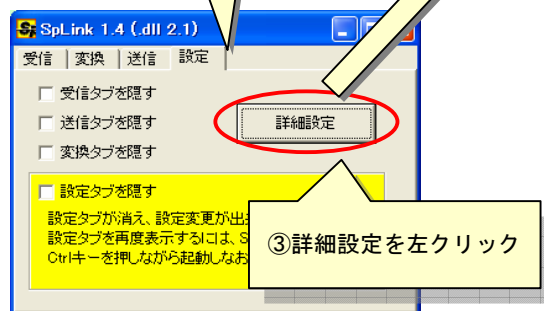
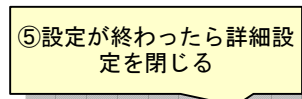
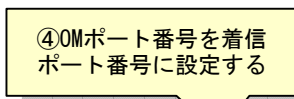
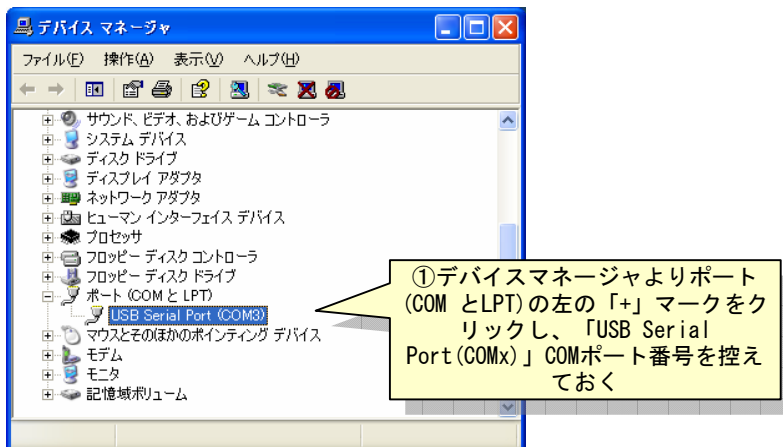


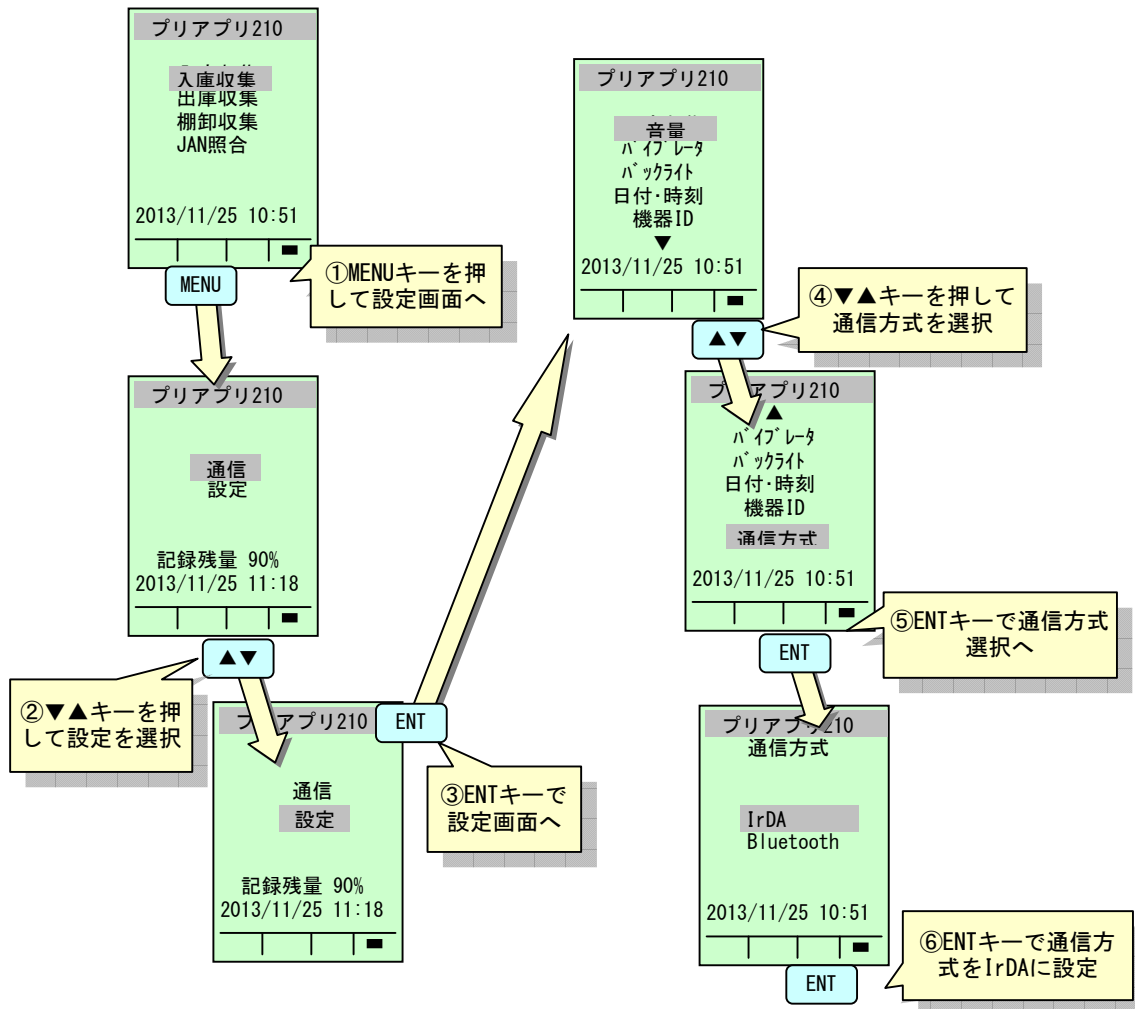
1. PC側の通信ツールSpLinkの通信ポート設定

以下の手順でSpLinkの通信ポートをクレードルのCOMポートに設定します。



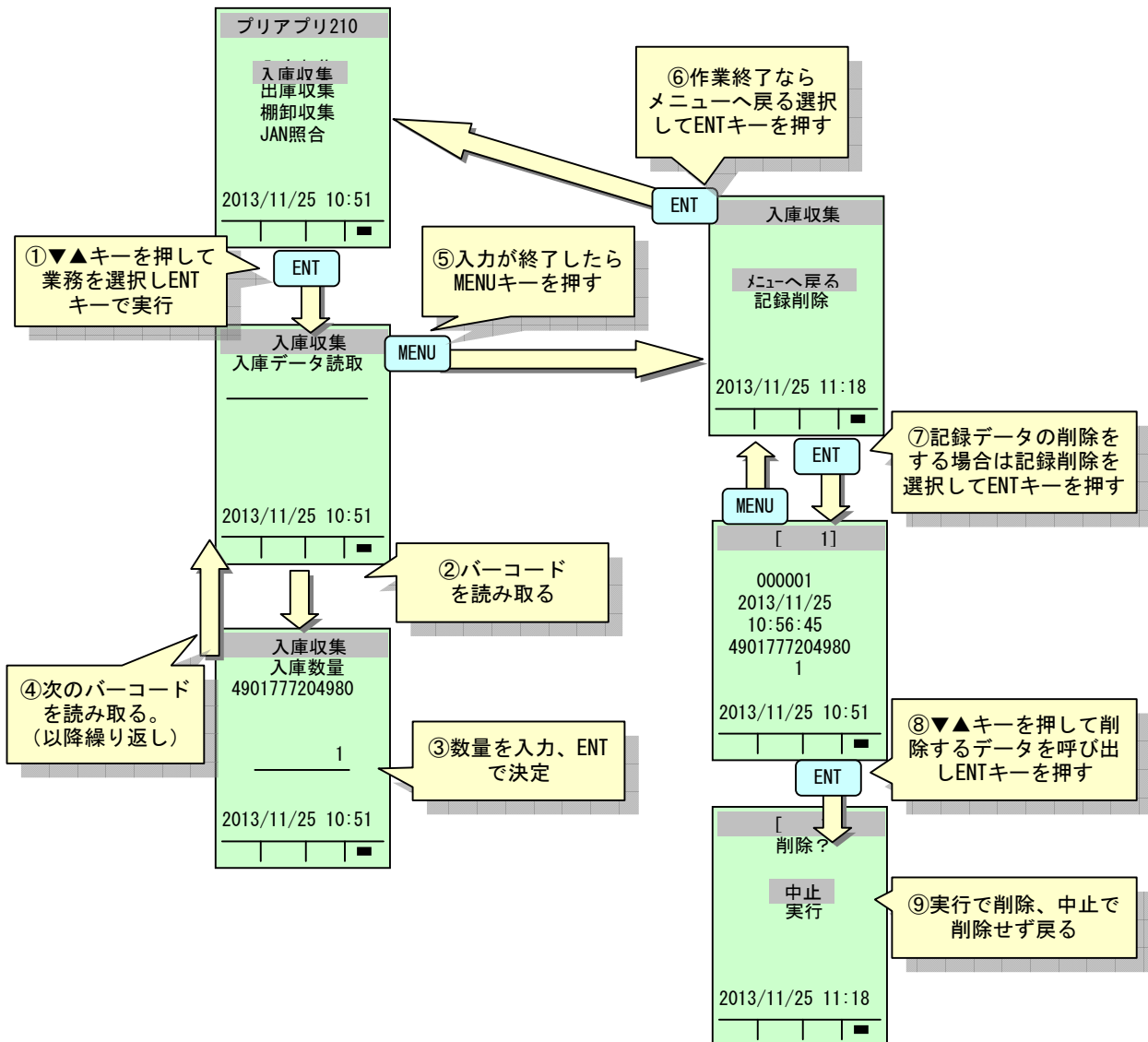
2. DHT-210の通信設定

以下の手順でDHT-210の通信方式をIrDAに設定します。
 (一度設定すれば設定値は記憶され、以降設定は不要です)



3. データ入力、収集

本ブリアプリには入庫、出庫、棚卸の3種類の業務毎のデータ入力、収集が出来ます。メニュー画面より該当する業務を選択、バーコードと数量を入力します。3種類の業務はタイトルが異なりますが、操作は全く同じですので、入庫収集を例にして以下に操作の流れを説明します。



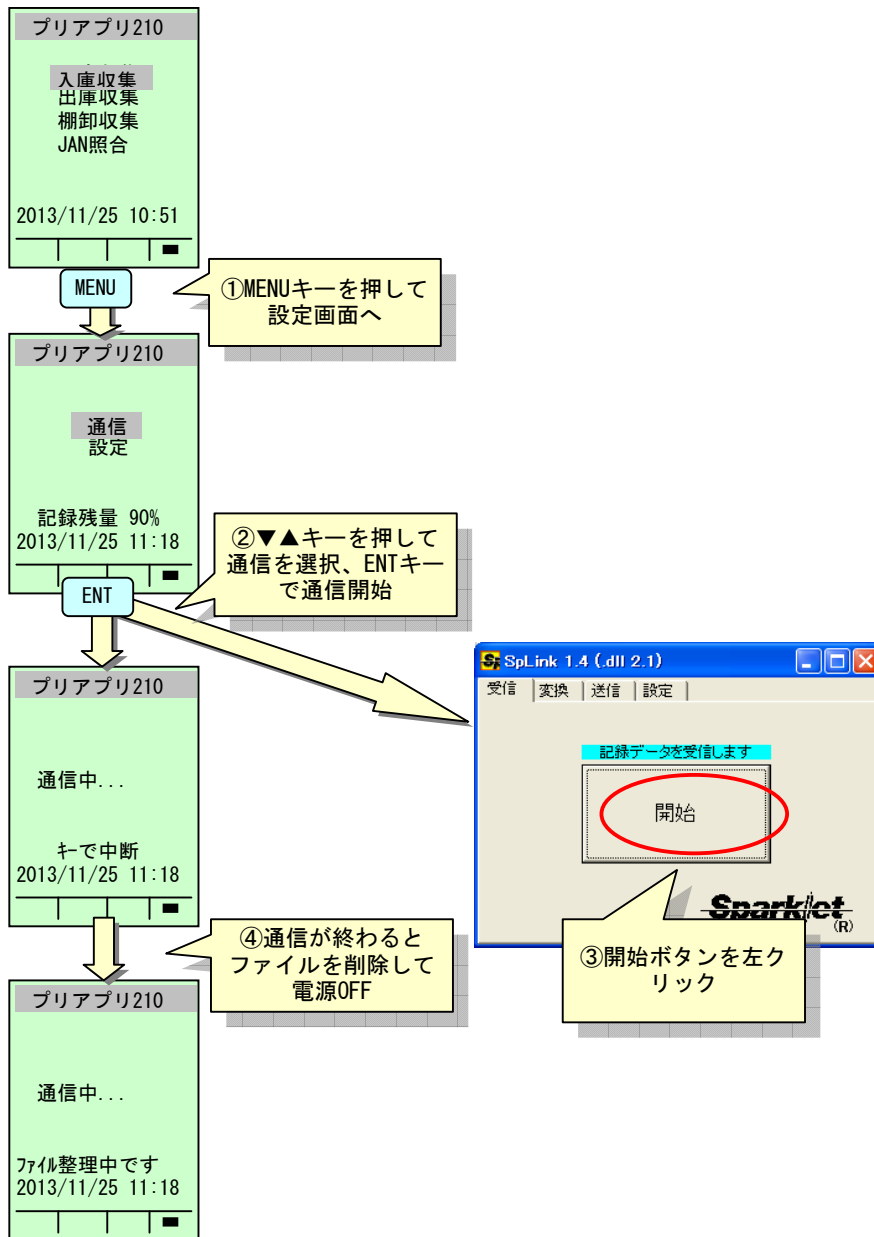
入力したデータは内部のFLASHメモリーにファイルとして記録され、通信メニューにてPCに送信します。ファイルは各業務毎に以下のファイル名になります。

在庫収集: M1xxxxxx.csv
 出庫収集: M2xxxxxx.csv
 棚卸収集: M3xxxxxx.csv

※xxxxxxは設定した機器ID番号6桁です。

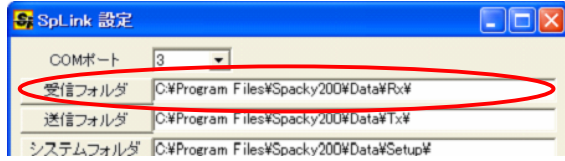
4. データ送信

業務毎に入力したデータは通信ユーティリティにてPCに送信します。



5. PC側で受信したデータの確認

受信データはSpLinkで設定されている受信フォルダに格納されます。



入庫収集: M1xxxxxxx.csv
 出庫収集: M2xxxxxxx.csv
 棚卸収集: M3xxxxxxx.csv

各受信ファイルはSpLinkでExcelファイルに変換する事が出来ます。

